



紫陽花が色とりどりに咲き、雨音に季節の風情を感じる季節となりました。
雨の日が続きますが、室内でも子どもたちは元気いっぱいに過ごしており、それぞれのペースで成長を見せてくれています。今月も、子どもたちの「できた!」を大切に、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

また6月は衣替えの時期でもあり、心も身体も新たなステップへと進むタイミングです。今月も一人ひとりの発達に寄り添いながら、楽しく活動を行ってまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。

中学3年生が職場体験学習に来てくれました!!

- 5月13日～15日 和田中学校3年生の3名が第1事業所に来てくれました!
- 5月20日～22日 福平中学校3年生の2名が第2、第3事業所それぞれ来てくれました!
そのときの様子や中学生からの声をご紹介します。

第1事業所での感想



Aくん
一番印象的だったのは「遊びも支援」ということです。例えば、ボールを投げるという一見シンプルな動きの中にも、さまざまな支

援の工夫があることに驚きました。

Bさん

「療育」とは、その子の本来持っている力を引き出すための支援であることを学びました。



Cくん

いつも明るく、そして粘り強く子どもたちと向き合う職員の方々の姿が一番印象的でした。



Fさん

職場の雰囲気がとても優しく、職員の方みんなで笑い合っているのを見て、「とてもいい職場だな」と思いました。

第2事業所での感想

Dさん

子ども達への声かけは、子ども達に質問して、子ども達に選択させて決めていくという工夫がされていた。



Eさん

以前から言語聴覚士の仕事に興味があり、実際に言語聴覚士の個別活動を見学させていただき、将来、言語聴覚士の仕事をしてみたいという気持ちが強くなりました。

第3事業所での感想

Gさん

「なぜこの遊びでこのおもちゃを使うのか」など、一つ一つ意味や理由を教えていただきました。ただ遊んでいるように見える活動でも目的があることを教わりました。



和田中学校、福平中学校の3年生のみなさん、3日間、本当によく頑張ってくださいました。ありがとうございました。

おやつについて

最初の契約時や、午後のご利用に移行される際、放課後等デイサービスのご利用開始時などのタイミングで、「おやつ」については、各事業所の児童発達支援管理責任者よりご説明させていただいております。このたび、梅雨時期に入り、食中毒のリスクや気温の上昇による品質保持の観点から、改めてご家庭からご持参いただくおやつについて、お願いがございます。別紙『育ち』のおやつについて（お願い）の内容をご確認のうえ、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。ご不明な点やご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

虐待防止・身体拘束適正化職員研修（R7.5.24）



育ちのスーパーバイザーである朝倉先生による研修を受講しました。その研修内容の一部をご紹介します。

Q:衝動性が強い児の保護者より「人を困らせて相手の反応を楽しんでいる様子が最近みられる」と相談があった。

具体例は、道路に飛び出そうとする、横断歩道の真ん中で止まる、手を繋いでいる大人の手を振り払おうとする等。事業所では見られない行動だが、今後、戸外活動などでそのような行動が見られた時の対応策を教えて欲しい。

A: 戸外活動に行く前の事前の約束をしっかりと行う。「大人が

危ないと感じた時は、手を繋ぐかもしれないからね等」と予め予告をしておくことが必要。また、子どもだけでなく保護者に対しても同じように説明を行い了承を得ておくことが必要。また、相手の反応を楽しんでいることは、年齢等である一定期間続くことをまず理解しないといけない。児にとっては遊びの延長であり、その他に楽しめるものがなかった可能性がある。そのため、他の事でそのお子さんが楽しめる物を探す、不適切な行動で相手の反応を楽しむよりもっと正当な方法で楽しめることがあることを子どもに気づいてもらうことが大切。活動前に、活動の内容などで子どもの行動の予想ができる場合は、できるだけ直前にもひと言指導を行うことも有効。（約束事、励ましの言葉等。例：今日は〇〇さんは飛び出さずに頑張れるよね等。）

この研修を受け、「育ち」で虐待や身体拘束に該当するような事案はまったくございませんが、保護者のみなさまに別紙『発達に特性のあるお子さまへの安全配慮についてご説明』を添付致します。ご一読いただき、ご質問等ございましたらお気軽にお声かけください。

各事業所より

第1事業所 6月18日

- ①今月の行事 避難訓練（水害）
- ②第1事業所では・・・

季節の行事として、あじさいの制作活動を行いました。絵の具の感触を楽しんだり、自由に表現することを目的に、大きな模造紙に手のひらに絵の具をつけてスタンプのように押し、みんなで協力して大きなあじさいを作る活動を行いました。絵の具を支援員が筆で手に塗ると、くすぐったさから肩をすくめて笑ったり、感触が苦手な戸惑うお子さんもいましたが、支援員手作りのスタンプを使うなど工夫し、それぞれのペースで楽しく参加することができました。活動の最後には、完成した大きなあじさいの前でみんなで記念写真を撮り、子どもたちの笑顔があふれる素晴らしい時間となりました。

第3事業所

- ①今月の行事 6月28日 避難訓練（土砂災害）

②第3事業所では・・・職員の異動や、中学生の職場体験など、「はじめて」の機会が多かった5月となりました。子ども達にとってこの環境の変化が情緒面などに少なからず影響するのではないかと懸念し、少しでもその影響を少なくできるよう職員間で話し合い、日々の支援に努めて参りました。そんな心配もよそに子ども達は、最初こそ恥ずかしそうな様子を見せる子もいましたが、この1か月ほどですっかり慣れた様子で、毎日子ども達の笑い声で溢れています。

梅雨の晴れ間に『みつのりファーム』で育てている大根の収穫体験なども行いました。無農薬で育てているため、たまに虫にも遭遇し悲鳴をあげる子ども達の姿もありました。子ども達と一緒に悲鳴をあげた職員がいたことは秘密です。今後もピーマンやゴーヤなどを収穫予定です。様々な体験を通して子ども達の笑顔をたくさん引き出していきたいを思います。

第2事業所

- ①今月の行事 6月20日 避難訓練（水害）
- ②第2事業所では・・・

お子さん達が進級・進学し環境が変わり、あっという間に3ヶ月が経過する中、たくさんの成長する姿を目にすることができ、とてもうれしく感じます。年長さんに関しては、就学を見据えて文字や数に楽しく触れられるような活動を提供し、意欲的に取り組んでくれています。放課後等デイサービスのお子さんは、入学当初は来所すると疲れている様子もありましたが少しずつ慣れてきて活気が増えてきました。年度半ば、『今』の姿のお子さんたちへの支援をしつつ、『先』を見据えてご家族への支援も充実させていきたいと考えておりますので、何かありましたら気兼ねなくご相談ください。

